

第2回 食育コンテストオリジナルどら焼きを作ろう！

コンテスト概要

本コンテストは、きほんのどら焼きレシピをもとに、北海道食材を使い、オリジナルどら焼きを考えるコンテストです。審査は第2次審査まであり、グランプリを決めます！賞をとれたチームには、プレゼントも用意していますのでお楽しみに！



応募資格

北海道在住の小学1～6年生のグループ ※ひとりでの応募はできません。(2名～4名まで)

応募期間

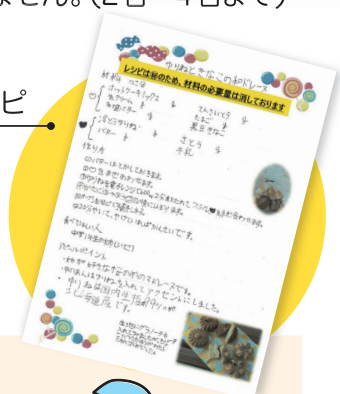
2025 7月15日(火)～8月15日(金)

コンテストの流れ

応募する

応募用紙に必要事項を記載し、郵送またはメール添付にてご応募ください。応募に必要な書類は、①応募用紙 ②アレンジレシピの2つです。

第1回のレシピ



レシピを考える時のポイント！

楽しみポイント

食感が楽しい！見て楽しい！知って楽しい！など、このレシピに、どんな楽しさを込めますか？

つながりポイント

北海道について〇〇さんに教えてもらった！新しいお友達とチームを組んだ！など、いろいろなつながりを楽しんでください。

健康ポイント

体は食べるものでできています。健康な体になるには、どんなのだら焼きだといのかな？

第1次審査

応募用紙とレシピをもとに食育教室大きなかぶにて審査されます。

審査員



食育教室大きなかぶ
代表 阿部由利恵

第2次審査

2025 9月15日(月・祝)

《最大6組！》会場 | 江別 薦屋書店 時間 | 13:30～17:00 (予定)

考えたレシピを元に、作っていただきます。

味はもちろん、レシピの再現度合いも大切になってきます！

江別 薦屋書店にて、パネル展示を行い、地域の皆さんにも投票してもらう予定です。

審査員



株式会社梅屋 取締役専務
平井 尚吾

北海道旭川市に本社を構える株式会社梅屋の取締役専務。地域に根ざした菓子づくりを軸に、地元農産物を活かした商品開発や地域イベントへ積極的に参加。伝統を大切にしながらも、新しいことへの挑戦を恐れず前向きに取り組んでいます。



管理栄養士
金高 有里

札幌保健医療大学・大学院准教授、管理栄養士、博士他。ヒト・動物を対象とした周産期の栄養を専門とする。何世代も先まで健康と笑顔を繋げる環境づくりの達成のため、ママの栄養チャージカフェ「nipocafe」を学生と立ち上げる。



札幌市議会議員
山田 洋聡

子どもたちのため、小中学校高校PTA、町内会役員、青少年育成委員など自らを子ども活動家®と称し、様々な活動を続けています。さらに、世の中の仕組みの終着点は政治であると考え現在は札幌市議会議員として活動中。

グランプリ受賞グループのどら焼きは商品化へ！